

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年6月5日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年6月5日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<b>【2号機窒素封入ホースの変形について】</b> 2号機窒素封入ラインの現場確認時に、原子炉建屋二重扉内布設ホースの一部が、通信用に設置している保護用の仮設防護床に潰されて、変形していることを確認。 なお、当該ホースは外観点検にて漏えいのないことを確認しており、実施計画Ⅲ25条(格納容器内の不活性雰囲気)の維持機能)における必要な窒素封入量は確保されているため、系統機能は満足している。	G II
2	<b>【5号機計装用空気系圧縮機(A)部品のメッキ剥がれについて】</b> 5号機計装用空気系圧縮機(A)の分解点検時に、部品の一部にメッキ剥がれを確認。 今後、当該部品を交換予定。	G III
3	<b>【物揚場西側擁壁からの水の湧出について】</b> 現場パトロール時に、物揚場西側擁壁からの水の湧出を発見。 拡大防止のため土嚢設置完了。 水の湧出については雨水と判断。	G III